



「夢気球だより」編集部 発行
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口7-4西邦ビル2階 城陽市国際交流協会内
電話 0774-57-0713
ご意見・投稿先 nicipyama0323@gaia.eonet.ne.jp

学んで話して楽しい にほんご教室

夢気球だより

日本語支援スキルアップ研修

日本語支援の気持ちを高めて

3月2日(土)に城陽市の文化パルクで「日本語支援スキルアップ研修」(京都府国際センター・城陽市国際交流協会主催)が開催されました。「夢気球」のメンバー以外にも、城陽市で関心を持っている方や、他の市町村からの方など全体で30名が参加して研修しました。

綾部の経験に学んで

はじめは、諏訪喜栄子さん(綾部国際交流協会代表)の講演です。諏訪さんは綾部市での活動の様子を紹介し、外国出身者と市民のつながりを深めていく役割、日本語ボランティアと学習者の信頼関係を築くことの大切さを語りました。時には、学習者に厳しいことを言わなければならないエピソードも聞き、参加者もなるほどと感じる場面がありました。



研修の様子



ワークショップで

「聴く」ワークショップ

色のかさ「黒いくつ」など実例をどう教えるかというのを興味深ききました。参加者の関心が一番集まったところでした。

次に、二人でペアになり、相手に関心を持って話を聴きながら、お互いの意見を交換するワークショップを行いました。最初は6〜7人の5グループに分かれて、「自己紹介」「工夫」「課題」のテーマで討論と交流。日本語支援をしている人も、これからという人も混じり、さまざまな意見が出ました。「学習者が日本語を話す機会を増やす」「生活面の支援」「日本語ネイティブの自信をもって」などなど。参加者が熱い思いを一番ぶつけてあう時間ですが、惜しくも時間が迫り、まとめとなりました。最後に、城陽市国際交流協会の大久保さんのふりかえりとあいさつで締めくくりとなりました。出席者は今日のスキルアップ研修で、フレキシブルな気持ちと日本語支援の意欲をいっそう高めて帰りました。(庶務 片岡敬愛)



意見交換

熱い思いをぶつけて

す。聴いたことをそのまま相手に返すだけなのですが、つい自分の考えで反応してしまいがちです。この研修で、お互いの思いをぶつけて、学習者の言葉を大切にすることに繋がるとは思いますが、まだまだ道は遠いようです。

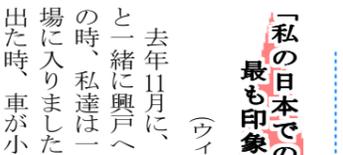
「私が一番恥ずかしいと思った時は」

(ウー・リンカーン)



「私の日本での最も印象的な経験は」

(ウー・シャミン)



去年11月に、私はリンカーンと一緒に興戸へ行きました。その時、私は一つ小さな駐車場で、車を動かすことに苦労しました。その駐車場で、車を動かすことに苦労しました。その駐車場で、車を動かすことに苦労しました。

英会話講座で講師として活躍

不安な表情で初めて日本語教室を訪れる日本語学習者が、回を重ねる毎に表情が輝いて行く。そして、授業の前後に日本語で楽しそうに話をしてくれる学習者の様子を覗くこと

が、私たち協会の職員にとっては嬉しくもあっていたそうです。そして、日本語が上達したと感ずる一瞬です。今回は、そんな日本語学習者の中で、協会の英会話講座夜コースで講師として活躍中のリー・ドゥギョンさんを紹介いたします。リーさんは、韓国ソウル生まれ。9歳でイギリスに渡り、小学校から大学までイギリスで過ごしました。オックスフォード大学で経済学を学び、21歳の時カナダへ。そこでコンサルタントの仕事をする傍ら、土日には英会



授業中のリーさん

冬の京丹後でホットな交流

2月23日(土) 城陽市国際交流協会主催

「京丹後市 国際交流と冬の風物詩」の研修旅行に、夢気球関係者数名を含む26名が参加しました。雪景色一面の久美浜に到着し、まず、久美浜・豊岡間の鉄道開通を私財を投じて実現したというほどの豪商・稲葉本家の見学。ともかくでっかい豪邸!そしてカニ料理を満喫した後、久美浜支所に移動し、京丹後市国際交流協会の方から活動の様子をお聞きしました。日本語教室の状況では、地域が広域であることと学習者のニーズが多様であることと特定の教室という形態はとりにくく、中でも、土地柄の温かい接し方で教室の独自の運営とともに多様な交流のイベントをされてお



活動の様子を聞く

話を講師を1年半程し、日本語が上達したと感ずる一瞬です。今回は、そんな日本語学習者の中で、協会の英会話講座夜コースで講師として活躍中のリー・ドゥギョンさんを紹介いたします。リーさんは、韓国ソウル生まれ。9歳でイギリスに渡り、小学校から大学までイギリスで過ごしました。オックスフォード大学で経済学を学び、21歳の時カナダへ。そこでコンサルタントの仕事をする傍ら、土日には英会

Table with 3 columns: Day, Classroom Number, Number of People. Total 36 people across 6 classrooms.

会です。夢気球だよりの感想も聞きしました。(外部の読者からの反応は結構あるのですが、身内からのそれは皆無かったです。事実です)今回は、編集委員は正直ホッと見えます。いつでもご意見は歓迎です。又、活動の現状ですが下記の様です。①夢気球の登録者数は52名で、実際に活動可能な方は41名②支援実績のある方は30名で、女性の方が70%を占めています③学習者は三月初めで30名を数え、出身国も多岐にわたります。その内訳は、中国、カナダ、モリゴ、モロッコ、イタリア、シンガポール、香港、ドイツ、アメリカです。教室の実態は表の通りですが、場所の確保を交流協会、ぱれっとJOYOでして戴いておりますので、複数の活動が可能となっております。(広報 村上弘芳)

運営委員会

3月1日に「おしゃべり会」の3回目を行いました。今回は、バランスが良く支援者と運営委員会側が半々の12名出席となり、自己紹介に続いて活発な意見交換の場となりました。一端を紹介いたしますと、①文章の練習は有意義ではないか②学習者との関係において、サポートの範囲をどのあたりに置くべきか等々。とにかく、継続することに意味があると考えており、今後は日程も変える予定ですので、多くの方が参加される事を希望しています。又、折角の機会

役員募集

現役員の任期満了に伴い、以下の要綱で夢気球運営委員会の役員を募集します。応募に関する連絡は、杉島凱夫(代表)、片岡敬愛(庶務チーフ)のいずれかにお願います。募集人数:9名 募集期間:2013年4月12日(金)まで 役員の正式決定:第3回総会(2013年4月21日(日)の予定)における承認による 任期:第3回総会開催日以降2014年3月31日まで (運営委員会)

日本語支援ボランティア養成講座

城陽市国際交流協会・夢気球 夢気球が発足して約1年半。ボランティア養成講座を開催し、年間の学習者数が延べ36名に達しました。一方、ボランティア登録者は41名、今までに実際に活動した支援者は30名に上りま

- 講座の内容と日程
5月11日(土) オリエンテーション
5月18日(土) 入門レベルの教方
5月25日(土) 初級レベルの教方
6月1日(土) 中・上級レベルの教方
6月初旬~7月初旬 日本語教室の実習
7月13日(土) まとめ(実習の振り返り)
時間:9時30分~12時30分
場所:城陽市国際交流協会(西邦ビル2階)
(実習は「ぱれっとJOYO」も併用)
講師:夢気球メンバー
定員:先着20名
費用:無料